

# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：海を守るヒーローたち



3月18日、雨で肌寒い片瀬東浜には、200人以上がNPO法人海さくら（以下、海さくら）のビーチクリーンに集まっていました。他のレジャーなどで海岸を訪れる人の姿が見えない中、「本日の海岸は貸切りです！」と明るい挨拶で場を温めたのは、海さくら代表の古澤純一郎さん。海さくらは、江の島の海にかつて生息していた「タツノオトシゴ」が戻ってくるようなキレイな海にするため、活動しています。活動の仕方としても、ゴミが出る上流に住む人に一回でも体験してもらうために「日本一楽しいゴミ拾い」を目指して、ビーチクリーンと様々なイベントを組み合わせています。

そんな海さくらの活動から生まれたヒーロー、「海洋戦士シーセーバー」が、2023年4月1日（土）からテレビ神奈川で毎週土曜日、朝9時15分より放送されています。今号では、放送直前のビーチクリーンにお邪魔して、活動とご当地ヒーローにかかわる人たちの想いを取材しました。

雨模様の海岸には、トンゴとゴミ袋を持った参加者がめいめいに散っていきました。年齢層も幼児から高齢の方まで幅広く参加しています。雨だからこそ見られた光景ともいえますが、ビーチクリーンの関係者が、まさに海岸を貸切にしている状況でした。

（つづく）



## ■ 海を守るヒーローたち

そうした風景を脇に、古澤さんにシーセーバーというヒーローを生み出した想いについてうかがいました。「シーセーバーが初めてではなく、実はエノシゴくんというキャラがいたり、段ボールで制作したエノシマンというヒーローもいたんです」と、これまでの取り組みをお話いただきました。そういった取り組みもゴミ拾いを楽しくする試行錯誤の一つですが、特に子どもたちへの想いがきっかけになっています。古澤さんは「2017年ごろに、子どもたちの海離れが加速しているというデータを見ました。テレビ番組にするほど力を入れたのは、子どもたちが海に来るきっかけを作りたい想いからです」と語ります。



中山省吾さん

ビーチクリーンにはテーマソングの「蒼き戦士シーセーバー」作詞・作曲者、中山省吾さんも参加しており、主題歌に込めた想いもお聞きすることが出来ました。中山さん曰く、「よくあるヒーローにだけスポットがあたる曲ではなく、海さくらスタッフや参加者の想い、子どもたちに残したい海などを念頭に作りました。曲中の『悲しみとむなしさ拾い集めて』というフレーズには、自分たちが生んだゴミを悪ではなく、反省として見られるようにというメッセージを込めています」とのことです。

比較的多い参加者層は、若い女性でした。参加のきっかけ作りには、「海さくらゴミ拾い隊長」である「特撮 Boyz」の存在が大きいように見えました。ゴミ拾いの合間にメンバーと談笑



したり、写真を撮っている参加者もいます。リーダーの翼さんにビーチクリーンに関わる想いをうかがうと、「僕たちはヒーローアイドルとして活動しています。『ゴミ拾い隊長』のお話が来た時、人の役に立てるヒーローとしての活動ができる機会をいただけ、とてもうれしく感じました。ビーチクリーンにいらっしゃる社会人や学生の方も同じようにヒーローであり、たくさんの学びがあります」と語りました。メンバーはシーセーバーのドラマにも出演しているとのことで、現実のビーチクリーンとの地続きになる世界観を支えているように感じました。

特撮ドラマの放映で子どもたちを惹きつけ、アイドルの協力を得て若者世代を惹きつける海さくら。5月27日には、ゴミ拾い後に元プリンセスプリンセスの富田京子さんがライブを行う「昭和ロックごみ拾い」も企画しています。その姿勢からは、一人でも多くの人にボランティアに関わってもらうことへの情熱と、人を惹きつけることができる人たちを惹きつける力を感じました。シーセーバーというヒーローには「海を愛する人であれば変身できる」という特徴があります。設定を通じて、海さくらから参加者・関係者への深いリスペクトが伝わってきます。

(取材と記事作成：関野)

## 団体紹介

### NPO法人海さくら

【設立】 2005年12月

【代表】 古澤 純一郎

【連絡先】<https://umisakura.com/>



NPO法人海さくらは、2005年12月より神奈川県江の島の海に、かつて生息していた「タツノオトシゴ」が戻ってくるようなキレイな海にするため、「楽しい」「体験」「体感」をキーワードに、今までにない挑戦をしつづけています。毎月のゴミ拾い・年中無休のゴミ拾い・面白いゴミ拾った選手権・映画製作・タバコのフィルターでカヌー制作など、これからも「目指せ!日本

一楽しいゴミ拾い!」を合言葉に、挑戦してまいります。ぜひ、江の島で一緒に楽しみながら海をキレイにしましょう!!





## 新年度のご挨拶

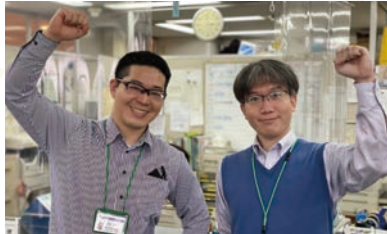
日頃より、市民活動推進センターおよび市民活動プラザむつあいをご利用いただき、誠にありがとうございます。センター長の関野です。2023年4月1日からの指定管理期間に向け、昨年公開プレゼンテーションが行われました。審査の結果、私ども認定NPO法人藤沢市民活動推進機構が今期（2023年度～2027年度）も両施設の管理運営を担っていくこととなりました。改めまして、今後とも引き立てのほど、よろしくお願いいたします。

2020年度より現職を拝命してより、コロナ禍の中で、団体の皆様が活動しやすい環境づくりに腐心してまいりました。休館時の印刷代行にはじまり、館内の感染症対策やオンライン会議講座など、活動の継続に役立つ支援を模索してきた3年間でした。未だ新型コロナウイルス感染症の流行は終息したわけではありませんが、感染症法上の扱いだけでなく、人々のとらえ方や集会のしやすさなど、前向きな変化が起きはじめているのを感じます。

地域や社会を支える皆様が活動しやすくなったこの時期、団体の発展や課題の解消に役立つ支援に、より一層の力を入れてまいります。

ます。今後とも、両施設をよろしくお願いいたします。

市民活動推進センター長 関野 豪星  
(写真左)



みなさん、初めまして。2023年4月より市民活動プラザむつあいの室長を務めます細矢岳彦と申します。1981年生まれの41歳です。生まれも育ちも藤沢で、聖園幼稚園、藤沢小、藤沢一中、藤嶺藤沢高に在学していた「藤沢っ子」です。

学生時代から（公財）藤沢市みらい創造財団のボランティアスタッフとして国際交流や子どもの健全育成、まちづくりのイベント等のサポートをしていました。大学卒業後は市臨時職員などを経てNPO法人国際ボランティア

事業団に勤務。藤沢市民活動推進機構の職員となったのは2008年です。

ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、2013年度から2018年度まで推進センターのセンター長を務めておりました。19年度より法人事務局長とセンタースタッフの兼任としてみなさんのサポートをさせていただいていましたが、この度、前任の林より引き継ぎまして、プラザ室長という責任ある立場を拝命し、身の引き締まる思いです。

藤沢市は本館（センター）、分館（プラザ）の両輪によって市民活動支援をさせていただいています。どちらの施設も市民活動団体の自立化支援という柱がありますが、特にプラザにおいては藤沢市北部の地域性を含めた事業にも力を入れているところです。

プラザ1年生の私は、六会地区や北部地域のことがまだまだ不勉強ですが、地域のことを日々学びながら市民活動支援に邁進させていただきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

市民活動プラザむつあい室長 細矢 岳彦  
(写真右)

## ボランティアコーディネーター研修



神奈川県社会福祉協議会主催のボランティアコーディネーター研修に参加しました。講師は、日本ボランティアコーディネーション協会の理事長妻鹿 ふみ子氏です。

まずはボランティアという言葉の確認から始まりました。やはり「自発性」「無償性」「社会性」に加え「先駆性・開拓性」があげられ、定義としては、IAVA（ボランティア活動推進国際協議会）の「ボランティア活動は、市民社会をかたちづくる上で土台となるものである。」また、効果として「ボランティア活動は、私たちが心より望んでいる平和・自由・（参加の）機会・安全や全ての人々に対する公正が実現する社会をもたらし」を紹介してくださいました。ボランティアという言葉は、守備範囲が広く、それぞれの生活環境によって理解が異なるため、定義が難しいのですが、効果や効用については、日本でも一定の評価が根付いてきています。特に「ボランティア活動は、市民（が暮らす）社会をかたちづくる上で土台となるもの」という定義は、どのような環境のもとでも理解できるでしょう。

コロナ禍におけるボランティア活動の行動率は微減していますが、興味を持ち始めた市民は増えてきています。活動情報がオンライン化されるなど、情報提供ツールにも変化が出ています。藤沢市ではボランティア募集サイトとして

「チームFUJISAWA2020」が動き出しています。ボランティア希望の市民とボランティアを受け入れたい組織（個人）をつなぐ重要な役割として、「ボランティアコーディネーター」があります。また、個人と組織の間の調整だけではなく、組織内部でのコーディネーションなど、活動を継続するための大切な役割です。

ボランティア活動の支援スキルとして今後重要視されていくと考えられますが、持ち合わせる資質は、コミュニケーションスキルをはじめ、忍耐力や企画力など様々求められています。人は何らかの欲求が満たされていくことで、達成感を覚え、更なる欲求が芽生えていくと、マズローの欲求段階説は解いています。生き生きと楽しく日常生活を送るための道具としてボランティアが存在し、市民の社会を創りあげる土台となる行動となります。ボランティアコーディネーターがしっかりと社会をつなぐ役割を担うことが求められる時代が始まってきたように思います。

今回改めて研修を受け、再確認できたことが多くありました。学習→行動→学習→行動→……のサイクルは大切ですね。（て）



講座・イベントの

ごあんない

イベント

日時

■ミライカナエル活動サポート事業説明会

4月17日(月)・19日(水)・22日(土)

■ミライカナエル活動サポート事業応募書類受付期間

5月8日(月) ～ 5月17日(水)

■開館時間の変更・印刷用紙の価格変更

4月1日(土)以降

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■2023 年度ミライカナエル活動サポート事業

市では、市民や学生、事業者などによる、未来のまちづくりに向けた市民活動を支援する「ミライカナエル活動サポート事業」の提案事業を募集します。

設立間もない市民活動団体が対象のスタート支援コース、さらなる成長をめざす市民活動団体に向けたステップアップ支援コース、市民活動団体や事業者、市など2団体以上が連携する協働コースの3つのコースがあります。

応募をお考えの団体は、募集説明会や事前相談にお申込みください。

#### ・募集概要

応募書類受付期間 2023 年 5 月 8 日(月)～5 月 17 日(水) 正午

提出先 藤沢市市民自治部市民自治推進課

TEL 0466-50-3516 FAX 0466-50-8407

E-mail fj-jiti-s2@city.fujisawa.lg.jp

#### ・募集説明会 ※全回同一内容

【第1回】4月17日(月) 午後7時～

視聴会場：市民活動推進センター(会場定員：先着20人)

【第2回】4月19日(水) 午後2時～

視聴会場：市民活動プラザむつあい(会場定員：先着10人)

【第3回】4月22日(土) 午前10時～

視聴会場：市民活動推進センター(会場定員：先着20人)

#### 申込み

各開催日の2日前までに、電話、FAX または E メールで、

次の①～⑦を市民自治推進課まで。

①申込者氏名 ②団体名 ③参加日 ④参加方法(Zoom 又は会場視聴)

⑤参加人数 ⑥連絡先電話番号 ⑦連絡先メールアドレス

### ■開館時間の変更について

2023 年 4 月 1 日より、藤沢市市民活動推進条例施行規則の変更に伴い、以下のとおり変更いたします。

#### ・市民活動推進センター

平日・土曜日 9:00～22:00 ※変更なし

日曜日・祝日 9:00～20:00

#### ・市民活動プラザむつあい

全開館日 9:00～17:00

### ■印刷用紙の価格変更について

施設内で販売する印刷用紙について、開館より20年以上価格変更をせずに販売しておりましたが、昨今の仕入れ価格の高騰に伴い、価格を維持することができなくなりました。2023 年 4 月 1 日より、以下のとおり変更いたします。

| 用紙種類       | B5旧  | B5新  | B4旧  | B4新  |
|------------|------|------|------|------|
| 普通紙(100枚毎) | 60円  | 90円  | 120円 | 180円 |
| カラー紙(50枚毎) | 75円  | 100円 | 150円 | 200円 |
| 再生紙(100枚毎) | -    | -    | 150円 | 200円 |
| 用紙種類       | A4旧  | A4新  | A3旧  | A3新  |
| 普通紙(100枚毎) | 80円  | 110円 | 160円 | 220円 |
| カラー紙(50枚毎) | 100円 | 120円 | 200円 | 240円 |
| 再生紙(100枚毎) | 90円  | 140円 | 200円 | 280円 |

ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢 2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております。サポーターも随時募集中です！